

令和5年度事業報告書

I 会務報告

1. 会員の状況について

	正会員	準会員	合計
今期末会員数	2,756人	0人	2,756人
前年度会員数	2,787人	0人	2,787人
増減	△31人	0人	△31人

支部別会員数は、添付諸表資料1のとおり

2. 賛助会員について

(1) 団体等

北海道農業共済組合	500,000円
ホクレン農業協同組合連合会	350,000円
(株)札幌夜間動物病院	200,000円
北海道農業協同組合中央会	100,000円
(一社)ジェネティクス北海道	100,000円
(株)高橋動物病院	100,000円
(株)TYL	20,000円

(2) 個人

なし

3. 名誉会員の推薦について

令和6年3月13日開催の理事会において、各支部長から推薦のあった下記18人の会員を名誉会員にすることとし、令和6年度地区獣医師会総会において名誉会員証を授与することとした。

川上光明(石狩)、米内山秀昭(石狩)、藤永 徹(石狩)、湯藤 洋(石狩)、大川三樹彦(石狩)、野村 武(石狩)、瀬能 昇(空知)、岡崎充成(空知)、細川一昭(上川)、柳澤一隆(胆振)、尾形重和(胆振)、植田壽恵弘(胆振)、高橋良平(十勝)、佐藤基佳(十勝)、小田雄作(十勝)、石川 潤(十勝)、中村 章(根室)、宇草哲夫(留萌)

4. 役職員の異動について

(1) 役員

令和5年6月14日、第11回定時代議員会及び引き続き開催した第4回理事会において新役員が選任され、同日就任した。

(2) 職員

令和5年5月 廣田和久 (技術主幹) 採用

令和5年 7月 中村和弘 (技術主幹) 採用
令和5年 9月 清水秀仁 (事務局長) 退任
令和5年 10月 中村和弘 (事務局長) 昇任
令和5年 12月 清水秀仁 (嘱託職員) 退職

5. 日本獣医師会特別委員会委員、職域別部会委員会委員 (本会分)

(1) 特別委員会

AMR 対策推進検討委員会 (副委員長)	会長	田村 豊
AMR 対策推進検討委員会		臼井 優 (酪農大)
AMR 対策推進検討委員会		蒔田浩平 (酪農大)
ワンヘルス推進検討委員会		堀内基広 (北大大学院)

(2) 職域別部会委員会

◎常設委員会

学術・教育・研究委員会	理事	片桐成二
産業動物臨床・家畜共済委員会		岡本真平 (NOSAI 北海道)
小動物臨床委員会	理事	上田広之
家畜衛生・公衆衛生委員会	理事	奥村利盛
動物福祉・愛護委員会		柴田千賀子 (札幌市)
総務委員会	専務理事	廣田和久

◎個別委員会

女性獣医師活躍推進委員会		井上麻里 (NOSAI 北海道)
--------------	--	------------------

6. 代議員会・理事会の開催について

(1) 令和5年度 (第11回) 定時代議員会

日 時：令和5年6月14日 (水)

会 場：札幌ホテルヤマチ

議 案

議案第1号	令和4年度事業報告について (報告事項)
議案第2号	令和4年度決算について (承認事項)
議案第3号	令和5年度事業計画及び収支予算について (報告事項)
議案第4号	令和5年度賛助会費について (承認事項)
議案第5号	会費規程の改正について (承認事項)
議案第6号	令和5年度役員報酬について (承認事項)
議案第7号	役員を選任について (承認事項)

(2) 理事会

【第1回】

日 時：令和5年4月11日 (火)

会 場：札幌ホテルヤマチ (ウェブ併用)

<議決事項>

1. 北海道獣医師会役員候補者推薦委員会の設置と委員の承認について
2. 北海道家畜畜産物衛生指導協会の北海道獣医師会新会館利用等について

<協議事項>

1. 講習会運営規程の改正について

【第2回】

日 時：令和5年5月17日(水)

会 場：札幌ホテルヤマチ

<報告事項>

1. 北海道家畜畜産物衛生指導協会が北海道獣医師会新会館へ入居しない経過報告について
2. 会長・専務理事の12月から4月までの職務執行報告について
3. 傷病鳥獣等保護受託業務について

<議決事項>

1. 令和4年度事業報告及び決算の承認について
2. 令和4年度決算監査の結果について
3. 令和5年度賛助会員について
4. 令和5年度役員報酬について
5. 北海道獣医師会役員の理事会推薦候補者選定について
6. 令和5年度（第11回）定時代議員会の開催について
7. 代議員会における書面等による議決権の行使について
8. 北海道獣医師会新会館建替えの追加費用について
9. 講習会運営規程の改正について
10. 会館建替え寄附金募集期限の延長について
11. 会館建替積立資産の取崩しについて
12. 日本獣医師会職域部会の常設特別委員会委員推薦について
13. 情報発信検討委員会設置と委員の選考について
14. 北海道獣医師大会後のパーティ料金の変更について

<協議事項>

1. 今後の行事予定について

【第3回】

日 時：令和5年6月14日(水)

会 場：札幌ホテルヤマチ

<報告事項>

1. 地区獣医師会総会の開催報告について

<議決事項>

1. 支部長・事務局長変更の承認について
2. 事務所の移転（戻り）について

3. 事務所の移転（行き）費用（100万円超の支出）について

<協議事項>

1. 令和5年度（第11回）定時代議員会の開催について
2. 地区学会の運営について
3. 北海道獣医師会新会館の事務所賃貸料について

【第4回】

日 時：令和5年6月14日（水）

会 場：札幌ホテルヤマチ

<議決事項>

1. 会長・副会長・専務理事の選任について
2. 役員報酬等の執行について
3. 顧問の委嘱について

【第5回】

日 時：令和5年8月30日（水）

会 場：北農ビル

<報告事項>

1. 第1回情報発信検討委員会の開催概要について

<議決事項>

1. 北海道獣医師会部会委員及び特別委員会委員の承認について
2. 事務局長の任免について

<協議事項>

1. 第71回大会提案事項の経過報告及び第72回大会提案事項について
2. 会館建替えに係る経費等の概要について

【第6回】

日 時：令和5年12月7日（木）

会 場：北海道獣医師会館

<報告事項>

1. 職務執行状況（11月末）報告について
2. 業務執行状況について
3. 中間監査の結果について
4. 寄附金について
5. 第2回情報発信検討委員会の開催概要について
6. 日本獣医師会から高橋徹前会長への特別感謝状授与について

<議決事項>

1. 北海道獣医師会館管理運用規程の改定について
2. 特別委員会の設置及び委員の選定について
3. 固定資産取得のための支出について

4. 令和6年度北海道獣医師大会・地区学会の開催について
5. 石狩支部事務局長の承認について
6. 共同購入品の価格改定について

<協議事項>

1. 特別委員会の設置について
2. 狂犬病予防注射事故対策要領一部改正の考え方について
3. 令和6年度事業計画（案）について
4. 令和6年度の行事予定について
5. 北海道獣医師会館の落成式について
6. 北海道獣医師会館入居団体の賃貸料について

【第7回】

日 時：令和6年3月13日(水)

会 場：北海道獣医師会館

<報告事項>

1. 業務執行状況について

<議決事項>

1. 令和6年度事業計画等について
2. 北海道獣医師会雑誌編集規程の改正について
3. 北海道獣医師会福利厚生規程の改正について
4. 一法人の令和6年度からの賛助会員承認について
5. 令和6年度からの名誉会員の承認について
6. 危機管理室設置の承認について

<協議事項>

1. 北海道歯科医師会との連携について

(3) 監 査

令和4年度決算監査	令和5年5月12日(金)	二十四軒借用ビル
令和5年度監事会	令和5年6月14日(水)	札幌ホテルヤマチ
令和5年度中間監査	令和5年10月12日(木)	二十四軒借用ビル

(4) 三役会議

第1回	令和5年4月4日(火)	緑苑ビル
第2回	令和5年4月11日(火)	二十四軒借用ビル
第3回	令和5年4月21日(金)	〃
第4回	令和5年4月30日(日)	〃
第5回	令和5年5月12日(金)	〃
第6回	令和5年5月30日(火)	〃
第7回	令和5年6月5日(月)	〃

第8回	令和5年6月26日(月)	二十四軒借用ビル
第9回	令和5年7月24日(月)	〃
第10回	令和5年8月7日(月)	〃
第11回	令和5年11月27日(月)	〃
第12回	令和6年1月15日(月)	北海道獣医師会館
第13回	令和6年3月7日(木)	〃

(5) 事務局長会議(ウェブ開催) 令和6年3月26日(火)

(6) 各部会、委員会

小動物臨床部会	令和5年4月13日(木)	ウェブ開催
役員候補者推薦管理委員会	令和5年4月14日(金)	二十四軒借用ビル
北獣雑誌編集委員会	令和5年4月18日(火)	ウェブ開催
産業動物臨床部会	令和5年4月25日(火)	〃
第1回情報発信検討委員会	令和5年8月2日(水)	二十四軒借用ビル
第2回情報発信検討委員会	令和5年9月20日(水)	〃
野生動物臨床部会	令和5年10月25日(水)	ウェブ開催
第1回行政部会	令和6年2月14日(水)	北海道獣医師会館
第2回行政部会	令和6年3月26日(火)	〃

(7) 学会関係

獣医学術地区学会長会議	令和5年5月11日(木)	ウェブ開催
獣医学術地区学会幹事会	令和5年6月29日(木)	〃

7. 弁護士との顧問契約について

札幌市内で法律事務所を開設している橋本智弁護士(事務所 Tel: 011-272-1056)と顧問契約を締結し、会員の法的な事案に相談対応できる体制を継続している。

II 事業報告

公益目的事業1：獣医学術の振興・普及並びに人材の育成を図る事業

獣医学及び獣医療の最新の研究成果、優れた診療実績等を共有し、獣医師全体の技術向上を図り、それらの成果を社会に還元する。

1. 獣医学術北海道地区学会・北海道獣医師大会の開催

(1) 獣医学術北海道地区学会の開催

- ①令和5年度獣医学術北海道地区学会は8月31日(木) - 9月1日(金)、酪農学園大学において開催した。会員及び会員外525人の参加を得て、石狩支部等道央3支部や学会幹事を中心とした会員の協力により整齊と運営された。
- ②発表演題は産業動物獣医学会74題、小動物獣医学会21題、獣医公衆衛生学会14題の、合計109題がエントリーされた。
- ③ランチョンセミナーは協賛会社の協力のもと、4会場で多彩な内容により実施された。
- ④各地区学会会長賞、北海道獣医師会会長賞・奨励賞については、獣医学術地区学会役員による審査会において慎重に審議され、次のとおり選定された。

【令和5年度北海道地区学会優秀発表演題と発表者】

1. 日本産 業動物獣医学会（北海道）

【北海道地区学会会長賞】

「高張食塩水が牛乳房炎原因菌のバイオフィルムに及ぼす影響」

○西 航司^{1,2)} 権平 智²⁾ 樋口豪紀²⁾

1) NOSAI・紋別家畜診療所 2) 酪農大予防獣医学

「疥癬罹患牛群におけるエプリノメクチン製剤の治療効果と投薬による行動および繁殖成績の変化」

○池田恵子^{1,2)} 平田晴之³⁾ 鈴木一由^{1,3)}

1) 酪農大院獣医学 2) ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン
3) 酪農大感染・病理学

「牛サルモネラ症対策における戻し堆肥の危険性について」

○宇治田健人¹⁾ 正木智之¹⁾ 大西美穂¹⁾ 吉田柴乃¹⁾ 杉本貢紀²⁾

日吉美恵¹⁾ 小泉桃子³⁾ 前田 光¹⁾ 前野和利¹⁾

「サラブレッド1歳馬における歯科調査」

○敷地光盛¹⁾ 住友 藍¹⁾ 田原和貴¹⁾ 福岡知恵美¹⁾

1) エルムホースクリニック

【北海道獣医師会会長賞】

「馬のジノプロスト（PGF2α）による発情回帰成績」

○小笠原 慶

NOSAI・日高西部家畜診療所

「心奇形を有するサラブレッド 10 症例における考察」

○鈴木 吏¹⁾ 加藤史樹¹⁾ 山家崇史¹⁾ 田上正幸¹⁾ 森本純菜¹⁾
宮下恵里¹⁾ 田上正明^{1,2)}

1) 社台ホースクリニック 2) 帯畜大臨床獣医学

【奨励賞】

「北海道内飼養牛における牛伝染性リンパ腫抵抗性遺伝子の保因状況」

○藤森 撰¹⁾ 安藤達哉²⁾ 関口 敏³⁾ 野津昂亮³⁾ 石田翔悟³⁾ 萩原克郎¹⁾
1) 酪農大感染・病理学 2) 酪農大生産動物医療学
3) 宮崎大産業動物伝染病防疫学

「3D 画像作成アプリケーションによる成牛の蹄形質評価の実現性の検証」

○中西果歩¹⁾ 村上高志¹⁾ 石川高明¹⁾ 大竹彩花²⁾ 稲森 剛³⁾ 佐藤綾乃¹⁾
1) 酪農大生産動物医療学 2) 酪農大附属動物医療センター
3) 酪農大フィールド教育研究センター

2. 日本小動物獣医学会 (北海道)

【北海道地区学会賞】

「犬の腎うっ血の評価における Shear wave elastography の有用性の検討」

○塩原 希¹⁾ 中村健介¹⁾ 横山 望¹⁾ 森下啓太郎²⁾ 滝口満喜¹⁾
1) 北大獣医内科学 2) 北大附属動物病院

「犬の Jones test(フルオレセイン通過試験)の再考および涙道内の観察について」

○北村康也 北村祥子

【北海道獣医師会長賞】

「犬の発作性ジスキネジア 23 例の回顧的検討」

○川上侑記¹⁾ 笹岡一慶²⁾ 大田 寛³⁾ 山根由久²⁾ 新坊弦也²⁾ 横山 望¹⁾
佐々木 東²⁾ 森下啓太郎⁴⁾ 中村健介¹⁾ 滝口満喜¹⁾
1) 北大獣医内科学 2) 北大附属動物病院 3) 酪農大伴侶動物医療学
4) 北大先端獣医療学

「中内耳病変を腹側鼓室胞切開術を用いて治療した猫の 4 症例」

○稗田寛子¹⁾ 松野正行¹⁾ 富永牧子¹⁾ 鈴木湖波¹⁾ 岡田一喜²⁾
賀川由美子²⁾ 柄本浩一¹⁾
1) えのもと動物病院 2) ノースラボ

【奨励賞】

「犬の右肋骨弓下腫瘍摘出時の側方アプローチ(W 字切開)に伴う手術侵襲の評価」

○小林真規子 山本集士 酒井俊和 伊丹貴晴 鳥巢至道
酪農大伴侶動物医療学

「犬の右側巨大肝臓腫瘍がなぜバッドキアリ様症候群を呈するかに関する検討」

○山上浩生 酒井俊和 山本集士 華園 究 鳥巢至道
酪農大伴侶動物医療学

3. 日本獣医公衆衛生学会（北海道）

【北海道地区学会賞】

「規制の対象外となっている狩猟用鉛弾に起因するオジロワシの鉛中毒症事例」

○渡辺有希子¹⁾ 河野晴子¹⁾ 石井千尋¹⁾ 丸山瑞貴²⁾ 石塚真由美²⁾
中山翔太^{2,3)} 齊藤慶輔¹⁾

1) 猛禽類医学研究所 2) 北大毒性学 3) ザンビア大獣医学部

【北海道獣医師会賞】

「黒毛和種去勢牛における *Rhizomucor pusillus* によるムーコル症の1例」

○荒井千種¹⁾ 木村香澄¹⁾ 岡田聖恵¹⁾ 田中伊万里²⁾ 豊留孝仁^{3,4)}

1) 東藻琴食肉衛検 2) 帯広保健所

3) 帯畜大基礎獣医学 4) 千葉大真菌医学研究センター

【奨励賞】

「日本で流通するペットフードにおける微生物および耐性菌汚染状況の調査」

○山浦 和¹⁾ 福田 昭¹⁾ 湯川尚一郎²⁾ 臼井 優¹⁾

1) 酪農大予防獣医学 2) 倉敷芸術科学大動物生命科学

(2) 第72回北海道獣医師大会の開催

①第72回北海道獣医師大会は8月31日（木）ホテルエミシア札幌を会場に、日本獣医師会蔵内勇夫会長・境政人副会長他多数の来賓を迎え盛会裏に開催した。

②大会では、野生動物臨床部会提案として

「人、動物および環境の健康・健全を目指して

～One Health からの学術アプローチの進展～」の提案を満場一致で決議した。

③大会に引き続き、前年度地区学会優秀発表表彰、北獣会誌投稿優秀論文表彰、狂犬病予防事業顕彰及び学位（博士号）取得者顕彰を行った。

狂犬病予防事業顕彰者及び学位取得顕彰者は次のとおり。

狂犬病予防事業顕彰者

伊藤 理子（石狩支部） 原 成明（石狩支部） 中島 永昭（石狩支部）

佐藤 清和（空知支部） 松橋 千里（後志支部） 奥山 博之（胆振支部）

奥山 一恵（胆振支部） 高木 英守（樺ノツ支部） 竹内 憲三（留萌支部）

学位（博士）取得顕彰者

□博士（獣医学）中田 悟史（開業獣医師）

論文題目：「Application of epidemiology and animal health economics in control of bovine leukemia virus (BLV) infection among dairy cows in Hokkaido Prefecture」

（北海道の酪農における牛白血病ウイルス感染制御のための疫学および家畜衛生経済学の応用に関する研究）

取得大学：酪農学園大学

取得年月日：2021年3月18日

2. 北海道獣医師会雑誌の発行について

獣医学術の振興・普及並びに諸行事の案内、活動報告等の情報提供の媒体として北海道獣医師会雑誌（北獣会誌）を毎月定期に発刊した。（第67巻第4号～12号及び第68巻第1号～第3号）また、会誌編集委員会において、前年度本会誌に掲載した学術論文から優秀なものとして次の3編を選定し、第72回北海道獣医師大会において顕彰した。

令和4年度北海道獣医師会雑誌優秀論文表彰

<産業動物獣医学部門>

□「後頭骨環椎軸椎奇形のホルスタイン種子牛2症例」

吉川裕亮¹⁾ 伊藤優太¹⁾ 大澤ふみ¹⁾ 平塚太志¹⁾

井上智陽¹⁾ 平林智香子¹⁾ 狩集 努¹⁾ 橘 泰光²⁾

1) NOSAI 北海道北見家畜診療所 2) NOSAI 北海道遠軽家畜診療所

□「多血小板血漿(Platelet-rich Plasma: PRP)

作製のための最適な遠心分離方法の検討」

山手智行 松尾拓見

NOSAI 北海道 道南北部家畜診療所

<小動物獣医学部門>

□「リヒター症候群と診断したT細胞性リンパ腫の犬の1症例」

田川道人¹⁾ 松本高太郎²⁾ 麻田正仁³⁾ 弘川治喜⁴⁾

1) 帯広畜産大学動物医療センター 2) 帯広畜産大学臨床獣医学研究部門

3) 帯広畜産大学原虫研究センター 4) これの木動物病院

3. 国際交流について

本会は相互の獣医学術の向上と交流を深め、互いに発展することを目的として、韓国の慶尚北道獣医師会と姉妹提携を結んでいる。現在、海外悪性伝染病である口蹄疫やアフリカ豚熱の発生もあり招聘を延期している。

4. 技術向上に係る講習会、研修会の開催について

本部主催の講習会と野生鳥獣救護技術講習会は中止した。支部主催により、産業動物・小動物・食検・新技術講習会を実施した。また、地区獣医師会や関係団体の主催する講習会、研修会等に後援・協賛し支援した。

開催状況は添付諸表資料3のとおり

公益目的事業2：人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する事業

人と動物の共通感染症の予防等、公衆衛生や家畜の伝染病予防等の家畜衛生に関する事業並びに動物の愛護・福祉の増進・野生動物の保護に関する事業を推進し、人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する。

1. 狂犬病予防注射事業の推進について

(1) 狂犬病予防注射事業は本会の主体となる公益目的事業として、各支部実施班の協力のもとで実施した。その注射頭数は151,268頭（前年比4,310頭減）で、減少傾向が続いている。支部別注射頭数は添付諸表資料5のとおり

狂犬病予防注射実施率向上対策の一環として、北海道・札幌市・動物愛護団体等と連携し、札幌地下歩行空間で狂犬病予防注射啓発イベントを開催した。

(2) 狂犬病予防注射事業に係る事故について、ワクチンによる副反応事故についても、狂犬病予防注射事故対策要領に沿って補償することとしている。令和4年度は犬の事故は死亡6頭・回復24頭の報告があった。犬の事故の多くはアナフィラキシー反応だが、犬の飼養者個々にチラシ等で注意喚起する等、きめ細かい対応がなされ、それぞれ支部実施班で適切に対応した。なお、死亡例は注射直後の発症であり、アナフィラキシーショックが疑われるが、剖検出来なかったことから確定には至っていない。

(3) 現状の狂犬病ワクチンは1バイアル10ドース分であることから、バイアル開封後の日数経過等により廃棄を余儀なくされる。ワクチンメーカーに対し、1バイアル1ドース製品の開発、供給を要請している。

2. 動物愛護の推進について

(1) 北海道から委託を受け実施している野生傷病鳥獣保護業務について、会員動物病院等の協力を得て33病院、115頭羽（前年比12頭羽増）の傷病鳥獣の診療、救護費用を補填した。

(2) 同じく北海道から委託を受け実施している所有者の判明しない犬猫等の診療、保護委託業務では44病院、278頭（前年比64頭増）の保護・診療費用の一部を補填した。

札幌市、函館市、旭川市においても、それぞれの市からの受託により同事業を実施し、札幌市9病院11頭、旭川市3病院27頭、函館市2病院36頭の保護治療を行った。

(3) 災害時の動物救護活動として、洞爺湖町等の希望者がいなかったため無料でのマイクロチップ装着は行なわなかった。

3. 公開講座等の開催について

(1) 北海道医師会との学術連携シンポジウム

高病原性鳥インフルエンザをはじめ多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められている。

このような状況を受け、学術協力を推進する旨の協定書締結に基づき、4月16日（日）「北海道における新型コロナウイルス感染症の新展開」をテーマに、連携シンポジウムを開催した。

(2) 野生動物部会の協力を得て、野生傷病鳥獣の診療技術向上のため技術講習会を札幌

市（円山動物園）、釧路市において例年開催しているが中止した。

収益事業1：不動産賃貸事業

1. 所有建物の貸付け

北海道獣医師会館の建替え工事が完了し、11月より新会館にて業務を開始した。新規テナントとして札幌夜間動物病院が入居し、さっぽろ獣医師会、札幌市小動物獣医師会、日本馬事協会北海道事務所に引き続き貸付けするとともに、会議室は各種会議等に貸付けを行った。

収益事業2：共同購入事業

会員が業務上必要とする各種様式印刷物や診断薬を一括購入し、添付諸表資料6のとおり斡旋販売した。

その他事業1：福利厚生事業

「福利厚生規程」に基づき、病気見舞金、弔慰金及び生花をそれぞれ添付諸表資料7のとおり贈呈した。

その他事業2：受託事業

1. 狂犬病予防注射済票交付事業

道内173市町村からの委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、市町村に代わり、狂犬病予防注射を受けた犬の飼養者に対し、狂犬病予防注射済票の交付を行った。

飼養者が居住していない市町村で狂犬病予防注射を受けた場合、注射実施者、責任者や各支部事務局の協力により、狂犬病予防注射済証を当該自治体に送付する事業を実施した。

2. 犬の登録及び鑑札交付事業

道内5市からの委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、狂犬病予防注射実施時に道内6市に代わり犬飼養者の便宜のため犬の登録受付及び鑑札の交付を行った。

3. 動物愛護週間における啓発活動

札幌市小動物獣医師会の主催する動物愛護事業に協賛した。これ以外の道南獣医師会による動物愛護事業等の行事、日本獣医師会が主催する動物感謝デー in Japan “World Veterinary Day” に協賛した。

4. 海鳥等保護対策事業

天売島の海鳥保護のため、羽幌町等からの委託を受け、不妊去勢手術、馴化、譲渡等

で野良猫を減少させる事業を実施し、環境省・道庁・羽幌町・本会・北海DOぶつネット等による「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会が関係機関とともに活動し、海鳥は増加している。

【会務運営報告】

(1) 組織基盤強化

道内 13 支部、職域及び専門部会と連携し、会員加入拡大・維持を組織基盤の原点として鋭意努めてきた。女性獣医師の役員戸用も検討中であり、女性獣医師が活躍できる環境を継続検討していく。

(2) 北海道獣医師会の財政基盤強化

令和 5 年 10 月末に会館が竣工した。多数の会員から会館建替え特定寄附をいただいた。会館入居団体の賃貸収入を財源として借入金の償還をすすめる。また、特定寄附について継続して募集する。

(3) 女性獣医師の就業環境の整備と就業促進

女性獣医師が半数を占める状況の中、復職を支援するリカレント教育を検討中であり、公務員獣医師及び産業動物臨床獣医師が活躍できるよう事業を進めていく。

(4) 産業動物及び公務員獣医師の確保

北海道の基幹産業である酪農・畜産業界や食の安全確保を推進するよう処遇改善を議会等に求めた。今後も関係機関等と獣医師確保対策を講じていく。

(5) 北海道動物愛護管理センター開設への協力

北海道が進めている北海道動物愛護管理センターが開設されたことから、動物愛護・福祉の増進に協力し、獣医学的観点から参考になる意見や希望を提案する。

(6) 広報活動の推進

北海道獣医師会ホームページを通して獣医師会活動を広く一般に知らせるとともに、SNS を利用した情報発信の方法を具体的に検討し、会員への有益な情報発信について更に充実強化していく。

(7) 獣医師倫理の高揚

獣医師は社会的にも様々な活躍が期待されており、かつ、責任もあることから、北海道獣医師会倫理規程を遵守し、それらのニーズに応えられるよう信頼される獣医師像を継続・模索していく。

(8) 動物医療現場におけるインフォームドコンセントの徹底

臨床分野では高度医療機器の導入により、より専門性の高い高度医療が実施されてきていることから、動物医療現場におけるインフォームドコンセントを徹底し、今後も適切な対応に努めていく。